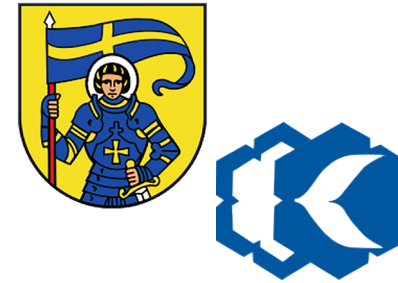


～祝！サンモリッツ・倶知安 姉妹都市提携 60 周年～  
**友好を築き続けた 60 年**



今年、2024 年はスイス・サンモリッツ市と倶知安町が姉妹都市の提携を結んでから 60 周年を迎える記念すべき年です。

今月号の特集では、サンモリッツとの歩みやサンモリッツの魅力を改めてお伝えするほか、4 年ぶりに実施した青少年交流事業や 60 周年を記念して実施する予定のイベントなどを紹介します。

“東洋のサンモリッツ” 倶知安町



『東洋のサンモリッツ』と呼ばれる倶知安町ですが、初めて『東洋のサンモリッツ』という表現をしたのは、本町にスキー技術を伝えたオーストリア武官のレルヒ中佐であったと言われています。今から 100 年以上も昔、1912（明治45）年、北海道の山を滑ったレルヒ中佐は、「北海道の冬の景観は、第二のスイスである。10 年後には『東洋のサンモリッツ』として大発展を見るであろう」と発言しました。

その後、1928（昭和3）年には、スポーツ振興に力を注いでいた秩父宮様（昭和天皇の弟）が、スキー旅行でニセコエリアに訪れました。当時の新聞記事は、『「極東のサンモリッツ」に最後の御思出 霊泉に恵まれた好スロープ 御滞在は三日間」と題し、スキー場の様子を紹介したことから、後に倶知安町は、『東洋のサンモリッツ』と親しまれ、国内でも人気のスキー観光地となりました。

“ハンカチ” からつながる世界

海外旅行もマイナーだった 1964（昭和39）年、インスブルック冬季五輪視察のため、サンモリッツ市を訪れることとなった当時の高橋清吉町長らは、宿泊先のホテルにてサンモリッツ市長のフリッシュ・サルトモ氏と対談しました。高橋町長は、サルトモ市長への素晴らしさを伝え、用意したニセコの絵ハガキやバッジ、人形を贈り、大変喜ばれました。

1 時間 30 分にわたった対談の後、高橋町長から姉妹都市提携の話を持ち出したところ、サルトモ市長は 2 つ返事で快諾し、この話が本当であることの証明として、倶知安町側が持っていたハンカチにサルトモ市長のサインと公印が押されました。

高橋町長は持ち帰ったハンカチをもとに町議会へ説明を行い、同年 3 月 19 日にサンモリッツ市との姉妹都市提携が決議され、国内初となるスイスの都市との姉妹都市提携となりました。



**1964 年（昭和 39 年）**

インスブルック冬季五輪視察のため渡欧中の高橋清吉町長がサンモリッツ市を訪問  
 フリッシュ・サルトモ市長へ姉妹都市提携を提案し、姉妹都市提携に至る

**1968 年（昭和 43 年）**

グルノーブル冬季五輪視察のため渡欧中の吉田富美雄町長がサンモリッツ市を訪問  
 提携後初の人的交流となる

**1982 年（昭和 57 年）**

初の民間訪問団 23 名がサンモリッツ市を訪問



① 初めての公式訪問団に倶知安町民はスイス国旗の小旗を振り歓迎しました

**1986 年（昭和 61 年）**

サンモリッツ市から初の公式訪問団 9 名が来町 ①

**1988 年（昭和 63 年）**

姉妹都市提携 25 周年を記念し、サンモリッツ市から「アルプホルン」3 本の寄贈  
 初の公式訪問団 宮下雄一郎町長ら 26 名がサンモリッツ市を訪問 ②



② 1986 年の来町の返礼として、宮下町長は町民と共に訪問しました

**1991 年（平成 3 年）**

倶知安町開基 100 年記念を祝し、  
 サンモリッツ市から第 2 回公式訪問団 15 名が来町

**1996 年（平成 8 年）**

初の青少年交流事業として中高生 2 名をサンモリッツ市へ派遣  
 翌年、サンモリッツ市から初の留学生 2 名が来町

**1999 年（平成 11 年）**

姉妹都市提携 35 周年を記念し、サンモリッツ市から第 3 回公式訪問団 4 名が来町  
 通信員制度の充実など 4 点にわたる姉妹都市交流事業に合意し、調印式を行う

**2014 年（平成 26 年）**

姉妹都市提携 50 周年を記念し、  
 サンモリッツ市から第 4 回公式訪問 6 名が来町 ③  
 第 4 回公式訪問団 福島世二町長ら 23 名が  
 サンモリッツ市を訪問



③ 式典後の歓迎レセプションでは、それぞれが記念品を贈呈しました

姉妹都市提携から 60 年間、互いに交流を深め、友好を築いてきました。  
 町は、未永くこの関係が続くことを願っています。



# 町民がつなぐ 60年の友好の懸け橋

## コロナを経て、4年ぶりの青少年交流事業

両都市がともに力を入れる青少年交流事業は、過去45名以上が参加し、互いの文化や生活の違いを現地で体験してきました。

今回は、倶知安高校の竹山侑来さん、ピンケイ・コンチャ・ネリー・バレンティナさん、加藤あいらさんの3名が9月にサンモリッツを訪れ、12月に役場で報告会を行いました。

60周年の今年、サンモリッツの学生を受け入れ、町内のホームステイ先や学校などで倶知安を体験・学習する予定です。



加藤さん ピンケイさん 竹山さん

### ～3名からの報告内容～

- ・学生だけで飛行機に乗ることも初めてで、とても緊張した
- ・サンモリッツで出会った人はハグをして快く受け入れてくれ、温かいおもてなしもしてくれる人の優しさに1番感動した
- ・サンモリッツの学生を見ていて、恥ずかしくても間違っても積極的に話しかけることと、意見を言う大切さを学んだ
- ・自然が豊かで、特に山と湖の景色がきれいだった
- ・観光地ではあるが、伝統も大事にしていることを知れた
- ・時間の流れが穏やかで、自分たちもゆったり過ごせた



## 両都市の懸け橋に！～すてきな出会いが待っています

60周年を記念し、町は「倶知安町町民海外研修事業」も兼ねたスイス・サンモリッツ市への訪問を、今年の6～7月ごろに予定しています。

訪問人数や日程、旅行費用などの内容を決定した後、町民からも訪問団メンバーの募集を行います。

募集時期は4月ごろを計画しており、広報紙やHP、SNS（Facebook、LINE）にて詳細をお知らせします。

また、その他にも町内でのさまざまな記念事業を予定していますので、町民みんなで、この60周年をお祝いしましょう！

☎総合政策課広報広聴係 ☎56-8001

## 今さら聞けない？！ サンモリッツの基礎知識

- ・サンモリッツは、スイスの南東側に位置する  
面積：約30平方キロ（倶知安の約7分の1）  
人口：約5千人（倶知安の約3分の1）  
標高：1856メートル（羊蹄山の頂上とほぼ同じ高さ）
- ・スイスは、ヨーロッパのほぼ真ん中に位置し、イタリア、フランス、ドイツなどに囲まれ、日本との時差は約8時間



## 姉妹都市通信員が伝える！ サンモリッツの魅力

両都市は言葉の壁を越えて交流を図るため、それぞれ通信員を配置しており、倶知安では平成16年より、英語もスキーも堪能な九津見真由美さんが務めています。両都市の交流に尽力してきた彼女にサンモリッツの魅力をお伝えします。



1番の魅力は美しい景色とおいしい食事です。サンモリッツの昼食は、家に帰って、1日の中で1番ボリュームがある温かい料理を食べます。



おほかたで優しい人が多く、町のスポーツ交流事業に参加した際、現地インストラクターの家族が集まる実家に招待され、驚きました。市長も大変フレンドリーでした。

山に囲まれ、自然がきれいいため、写真の中にあるような感覚になります。ロープウェイなどを利用すると、どこを見ても写真のような景色を見られます。



太陽が市のシンボルになるくらい晴れの日が多く、積雪が少ないため、スキー場などは機械を使って人工雪を降らせています。気温はずっと低いため、降らせた雪はすぐにはとけません。



リゾート地としての歴史が長く、隣国より就業している人も多いため、国際色豊かでさまざまな言語が使用されています。お店で英語が通じず、注文に手間取ったことも今では楽しい思い出になっています。



## 姉妹都市提携60年を迎えて

提携50周年の年、アスプリオン市長をはじめ6名の訪問団が町を訪れました。その訪問団の中には、来町が二度目のメンバーもおり、再会でき、大変うれしかったことを覚えています。

近年は、自然災害やコロナウイルスなどの影響で、青少年交流事業などを行うことができない時期もありましたが、その度に姉妹都市交流が活発となり、こうして姉妹都市提携60周年を皆さんと迎えることができることを大変うれしく思います。

今年、両都市の皆さんと一緒に祝いできるとすてきだと思います。



姉妹都市通信員  
九津見 真由美